

「あいちトリエンナーレ 2019」これまでの経緯

月 日	内 容
7月31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝刊に「平和の少女像」展示の報道。トリエンナーレ実行委員会事務局（以下、「事務局」）への抗議電話が始まる。 ・午後には事務局の電話回線がパンク状態に。 ・文化庁がオープニング・レセプションを急遽欠席。
8月1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局へ抗議電話が殺到(200件)、他業務が行えない状況に。 ・職員個人が中傷される事案が相次ぐ。
8月2日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、ガソリントロを予告する脅迫FAXを発見。東警察署へ通報。 ・名古屋市長が会場視察。「表現の不自由展・その後」の展示中止を求め。 ・県庁など他機関へも抗議電話が殺到。本庁にコールセンター設置。 ・津田芸術監督が、「展示の変更も含め、何らかの対処を行うことを考えている」とのステートメントを発出。
8月3日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・大村知事(実行委員会会長)と津田芸術監督は、安全性が確保できず、円滑な運営ができないことから「表現の不自由展・その後」の展示を3日までとすることで合意。 ・午後5時から大村知事が記者会見。引き続き津田芸術監督が会見。
8月4日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁に経緯を説明
8月5日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝、愛知芸術文化センターや県内の小中学校、高校、幼稚園にガソリントロを予告するメールが届く。
8月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・8月2日の脅迫FAXに対する被害届を東警察署に提出。 ・作家2名の展示が、作家の意向により中止となる。 ・参加アーティスト72組が声明を発表。 ・「表現の不自由展・その後」実行委員会から公開質問状。
8月7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知芸術文化センター内でガソリンだと叫びながら液体を撒いて暴れた男を警察が現行犯逮捕。 ・脅迫FAXの容疑者を逮捕。
8月9日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県が、第三者委員会「あいちトリエンナーレあり方検証委員会」を8月16日(金)に立ち上げると発表。
8月10日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・「表現の不自由展・その後」の展示中止に抗議して、海外作家が自身の展示を閉鎖。
8月12日 (月・祝)	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁及び芸術文化センター周辺でビラが掲示。 ・アーティスト主催の意見交換会が開かれ、参加アーティストと津田芸術監督が意見交換。
8月14日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外作家9名が展示作品の一時的な停止を決めた公開書簡が国内外のメディアで報道される。 ・脅迫メールに対する被害届を東警察署に提出。